



NOUSYOKUKA JA TSUBETSU KITA NO NOUSYOKUKA JA TSUBETSU TSUBETSU KITA NO NOUSYOKUKA JA TSUBETSU KITA NO NOUSYOKU NOUSYOKUKA JA TSUBETSU KITA NO NOUSYOKU NOUSYOKUKA JA TSUBETSU KITA NO NOUSYOKUKA NOUSYOKUKA

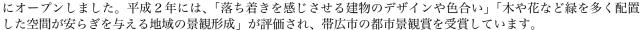


JAつべつ女性部 道内視察研修を実施!

6月26日から1泊2日でJAつべつ女性部(金田美喜恵部長)部員10名参加のもと帯広方面へ視察研修を行いました。

津別町を9時35分に車2台で出発し、音更町「食事処 楽」で昼食を済ませた後、午後から「無印良品パピオ」にてショッピングを楽しみ、「木野の森珈琲店」で有意義な時間を過ごしました。

次に今回のメインの視察先である『ビート資料館』を訪れました。ビート 資料館は、日本甜菜製糖㈱の創立 70 周年を記念して、平成元年 10 月 5 日



視察当日は、館長が不在で館内の説明を聞くことは出来ませんでしたが、映像資料室にて 15 分間のビデオ研修致しました。4月に日甜の講師を招いてパン作りを行った際に使用した「ドライイースト旨パン職人」や「北海道まろやかてんさい糖」等も展示されており、北海道には、日甜製糖工場が「美幌・芽室・士別」の3か所しかないことを知ることが出来ました。

2日目の午前中は、天気は快晴で各自駅前のショッピングを楽しんだ後、昨日訪問したビート資料館の横にある「麦音」にてパンを購入し、昼食後、「おとふけなつぞらのふる里」他2か所の道の駅に立ち寄り無事視察研修を終えました。

部員同士の交流が図られ充実した研修となりました。参加された部員の皆様大変お疲れ様でした。農作業から解放されたひと時を参加者は満喫出来た様です。

女性部・フレッシュミズニ部合同第3回パン作り講習会実施!

7月16日津別町食品加工研修センターにて、JAつべつ女性部(金田美喜恵部長)とJAつべつフレッシュミズ(金一和美会長)の二部合同で、12名参加のもと第3回パン作り講習会を開催しました。

今回は、津別町が北海道で一番気温が高く、最高気温が32.1度という猛暑の中、水分を取りながらパン作りを行いました。





種類は、あんパン・クリームパン・ピザ・豆パン・コッペパン等の12種類のパンを作り大変好評で、ふんわりと膨らんだパンが美味しく焼き上がりました。

JA役職員による組合員全戸訪問を実施!

7月1日・2日の日程で、JA役職員による組合員全戸訪問を実施しました。例年7月上旬に実施しているもので、8班体制にて事前に配布した調査票に基づき各組合員宅や圃場を訪問し、①第31回JA北海道大会に向けて「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」「アグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解構成」や②本年度の営農で困っている事やJAに対する意見の聞き取りと、合わせて農家経営に係る作付実態調査を行いました。

組合員の皆様にはご多忙の中ご協力賜り感謝申し上げます。全戸訪問の際の調査結果・意見等の集約については、 8月14日の組勘配送時に報告させた頂きます。

JAつべつフレッシュミズアルバム作り講座を開催!

7月8日フレッシュミズ(金一和美会長)会員4名 +参加者1名の計5名参加のもと、講師に溝口幸恵さんを招き、それぞれの家族のお子さんの写真を数枚持ちより、思い思いに装飾しアルバムを作成し、家に長く飾っておける素敵な作品を作ることが出来ました。 笑い声の絶えない楽しい充実した時間を過ごしまし







アソビバ! つべつ JA青年部と一緒に「草取り&生育観察」を実施!

7月8日アソビバ!つべつの子供たち 15名と青年部6名(池田部長、岡本副部長、 五島理事、安部勇人、荒井悠馬、石川匠)、 JA青山職員の合計 22 名参加のもと、津 別町教育委員会と連携した食農教育事業 の一環とする「草取りと生育観察」を実 施しました。

最初に中央公民館に集まり、「とうもろ こし、南瓜、大豆」の草取りと生育観察 を行いました。

次回のアソビバ!については、8月下 旬頃に「枝豆」と「とうもろこし」の収 穫をする予定です。









津別町スマート農業研究会・津別町農業法人会

7月9日から1泊2日で16名参加のもと、津別町スマート農業 研究会(谷智博会長)と津別町農業法人会(羽田野慎也会長)との 合同視察研修を行いました。

1日目は、更別村にて「デジタル田園都市国家構想 スーパービ レッジ構想の中の超なまら本気スマート農業」十勝財団では「第3 期産業活性化ビジョン 十勝をつなぐ『価値』の創出と向上・ ISOBUS 関係」を視察しました。

2日目は、テクノファーム (ズコーシャ) にて「農業先端技術を 駆使した栽培管理 (テクノファーム)、農業・環境・まちづくりに フォーカスした総合コンサルタント (ズコーシャ)」を視察しました。

2日間を通して、特に先端技術を駆使した栽培管理による農業の 必要性を強く感じた意義ある視察研修が出来ました。







年部の協力のもと廃スラ回収作

7月3日活汲事業所麦乾工場前にて、今年度 第1回目の廃プラ回収作業をJAつべつ青年部 (池田健太部長) の協力を頂き実施しました。肥 料袋や農薬等の空き容器を中心に 127件、51 トンの廃プラを回収しました。(前年:104件、 60.1 トン) 第2回目の廃プラ回収作業は、廃タ イヤ回収も加わり11月上旬頃を予定しています。







JAつべつ青年部活動をSNSページにて随時更新中です! 是非ご覧下さい!Facebook、Instagram





令和6年度 組合員交流会を開催!

7月13日(土)11時から14時30分までJAつべつ活汲事業所旧人参工場にて、組合員・組合員家族・津別町役場関係者他・JA職員の総勢178名(子供含む)参加のもと、組合員交流会が開催されました。青年部・女性部・フレッシュミズの協力を頂き、天候に恵まれ猛暑の中、焼き肉・ホタテ焼きを囲んで和やかな夏のひと時を過ごしました。

市場実行委員長の乾杯の挨拶の後、池田青年部長の司会進行で交流会はスタートし、五島青年部理事が新人職員に対していろいろな質問をぶつけて楽しませてくれました。

「NPO法人 北海道ででこいランド」「ギュギュっとテラス」「石井牧場」「クレシェ」「キッチンカー2台」のお店に出向いて、本日のおすすめ商品等を紹介していただきました。特に今年は、キッチンカー2台の出店を企画し、「ジェラート・パンケーキ」に人気がありました。津別高校生のボランティアとして、親子で楽しめる縁日コーナーも設けました。

又、フラダンス講演により、「レイアロハフラ」の演舞が披露され大変盛り上がりました。

青年部の企画として、「綱引き」「バンド演奏」も行われ、迫田理事の他皆さんも加わり熱唱し場を盛り上げてくれました。「綱引き」は、女性チームも参加し、熱戦が繰り広げられ大変盛り上がりました。

最後に、フレッシュミズの金一会長が司会進行を務め、お楽しみ抽選会を行った後、組合員交流会を終了しました。







▲佐野組合長 挨拶



▲伊藤副町長 来賓挨拶



▲鹿中町議会議長 来賓挨拶



▲安部職務代行 閉会挨拶



▲参加者受付



▲JA青年部 炭おこし作業



▲縁日コーナー (高校生ボランチア)







▲キッチンカー2台



▲お楽しみ抽選会









▲フラダンス 演舞



▲新人職員紹介(令和6年採用者)



▲迫田理事 熱唱



▲青年部バンド演奏 五島理事



新規道営事業計画に係る振興局による個別聴き取り協議を実施!

現在、実施中の国営農地再編事業は、令和6年度に完了致しますが、国営事業から外れた場所や未整備の圃場も 多く点在することから、次期事業での実施に向けて個別に工事内容の聴き取りを行いました。

津別町の農業基盤となる農地整備は、今後主流となる「スマート農業を」中心とした技術導入を確実に進めるため、 急傾斜の解消、排水不良の整備、石礫除去、客土工事を実施し農地の整備水準を継続的に高めるとともに、担い手 の経営規模の拡大・生産性の向上を進める必要があります。

又、地域農業を守るため、耕作放棄地の発生防止することにより優良農地を確保し、効率的・継続的な農業を展開することを目的としております。

○事業の概況

1) 事業名 道営畑地帯事業

2) 地区名 津別第3地区 町一円 ※津別1地区(最上・沼沢・木樋・二又)以外

3) 実施年度 令和9年度~令和17年度

4) 概算事業費 39億円 5) 受益面積 400ha 6) 受益戸数 46戸

7) 事業工種 農地開発・勾配修正・暗渠排水・客土・石礫除去・心土破砕・調査測量

◎補助率は、通常83.0%です。生産基盤整備特別対策「第7期パワーアップ事業(令和8年度~)」の動向により、 農家負担は変動します。

◇現在継続中の事業

1) 津別地区 国営農地再編整備事業 平成27年度~令和6年度

2) 津別1地区 道営畑地帯事業 令和3年度~令和7年度(最上・沼沢・木樋・二又)

●振興局による個別聴き取り協議

令和9年度採択 津別3地区 道畑地帯事業の実施に向けて、令和6年6月27日~28日及び7月8日~9日に JAつべつ2F大会議室において、オホーツク振興局による工事希望の個別聴き取りを実施しました。

※今後のスケジュール

- ・7月中 受益者台帳の作成
- ・8月~ 現地調査 (実施の可否をオホーツク総合振興局が圃場確認する)
- ・8月~ 石礫除去 含礫率調査 (順次各圃場を調査する)
- ・12月~ 地区決定(計画事業費を決定する)
- ・令和9年より「地区採択」及び「調査・設計」がスタートする。
- ・令和10年より「施工」実施となります。

※休耕補償は、大規模施工者への補償が主になるため作付を休むことを実施条件とし進めます。











▲全体説明会の様子

▲個別聴き取り協議の様子

| 7 | | | | | | | | 14 |
|---|-------------|-----|------------------|----|------------------|---|------------------|------|
| | ④子会社の対応について | ついて | ③加工馬鈴薯運搬による受入体制に | いて | ②夏季懇談会にかかる意見集約につ | て | ①全戸訪問にかかる意見集約につい | 協議事項 |

| 項 | |
|-------|----------------------|
| 議案第1号 | 概算払い単価設定につ令和6年産澱原馬鈴薯 |
| | |
| 議案第2号 | 組合員のク |
| | 供給につい |
| 議案第3号 | 6年度農産 |
| | 基準金 |
| | 7 |
| 議案第4号 | 保有合理化事業 |
| | 伴う確認書の提出につ |
| | |

| 課報告事 | 物の状況及び生産者 | 11年度道条例検査の取得につい | ④特定組合員の経営状況に ③令和6年度基本調査結果 | 燃料手当の支給につい令和6年6月末財務状 | 報告事項 |
|------|-----------|-----------------|------------------------------|----------------------|------|
| て | 産者団体の活 | 査の受検について | 況について | いて いて | |

第六回理事会報告



カルビー馬鈴薯生産組合 カルビーフィールドデ-

7月17日カルビー馬鈴薯生産組合(柏木守組合長)は、生産者20名、 カルビーポテト㈱5名、JA職員2名 合計27名参加のもとカルビー フィールドデー(勉強会・圃場視察・パークゴルフ)を開催致しました。 柏木組合長の圃場において「きたひめ」の視察を実施し、人参選果 場前で勉強会を行い、本田津別支所長からは、「生育について、高温 の影響により、既に枯れ始めている圃場(品種)も見られ、高温によ る病害発生も懸念される事から防除の徹底」との説明がありました。

現在、津別は「トヨシロ」から「ぽろしり」に作付がシフトしてい る事から、より一層のカルビー向けの馬鈴薯の作付面積の拡大をお願 いしているところであります。

新宇都宮工場 古口氏からは、津別産馬鈴薯は過去5年間異物混入0 件」と報告を受けました。今後も異物混入しない様注意喚起を行いま した。

説明会終了後、来組された新宇都宮工場・カルビー津別工場 の皆さ んを囲んで懇親会を行いました。



▲圃場視察研修 柏木組合長の圃場にて









▲懇親会の様子

▲勉強会の様子

7月9日JAつべつ青年部(池田健太部長)は5月に引続き小麦町内圃場視 察及び講習を行いました。本年度の青年部研修活動の一環として収穫前講習と して部員15名参加のもと前回と同じ圃場の6カ所で実施しました。

講習会については、小麦収穫前の生育状況調査並びに穂水分測定(サンプル 30 穂程度)を行い収穫時期を予測しました。

木俣嘱託より、視察圃場の中で「縞萎縮病」による「黄化萎縮症状」が強く 出ていた圃場もあり、稈長が短く茎数が多い傾向であることが説明された。



夏期懇談会を開催 令和6年度

7月11日JA会議室にて夏期懇談会を開催しました。懇談会の内容は、①「第10次農業振興計画と農協未来」 と題して、北海道大学 東山教授(JA顧問アドバイザー)の講演 ②「今後の農業DXが進むべき道筋」と題して、 東京大学大学院 中谷准教授の講演がされました。

懇談会説明事項として、中西参事より、①第 31 回 J A 北海道大会議案の組織討議について ②地区懇談会の今後 の進め方 ③第10次農業振興計画の進捗 の内容にて説明されました。

出席者 16 名、役職員(課長以上) 22 名、合計 38 名の出席により、今後の J A があるべき姿について講演に熱心 に耳を傾けていました。





▲北海道大学農学部農業経済学科 教授 東山 寛氏 ▲東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 中谷朋昭氏



▲懇談会の様子



年金無料相談会を開催

7月17日金融共済課相談室にて、熊谷たか子 社会保険労務士を迎えて、日 本年金機構が取り扱う国民年金や厚生年金等の年金全般に係る年金無料相談会 を開催しました。相談希望者6名が、割り当てられた時間帯で厚生年金額と保 険料、支給開始年齢、遺族年金・年金分割、年金の繰上げ・繰下げ等に伴う制 度についての相談を行いました。

又、農業者年金についてのご相談は営農課で受付しておりますので、お気軽 にお問い合わせ下さい。





小麦収穫作業始まる! **Ľ場増強・トラックスケール新設により稼働開始**

7月18日に小麦収穫委員会が開催され、各作業班の「収穫委員」と「検見委員」が参集し、事務局より「小麦コ ンバイン安全作業マニュアル」の徹底確認の説明と美幌警察署よる「交通安全講話」を実施しました。安全講話終 了後、小麦圃場の検見を行い収穫開始時期等の協議しました。

7月20日から、昨年と同様に令和6年産小麦の収穫作業が始まりました。収穫開始後は連日30℃を超え順調に 作業が進み、一時雨天等の心配もありましたが、秋まき小麦の受入は7月28日に無事終了し、昨年に引き続く7月 中の秋まき小麦受入れの終了となりました。

春まき小麦の収穫も8月1日からスタートしています。天候が順調にいけば、いつもより 10 日程度早く終了する 予定です。

今年産の小麦受入作付面積は、きたほなみ 556.37ha、ゆめちから 112.15ha、春よ恋 56.37ha 合計 734.89ha です。 職員も小麦受入業務を当番制で勤務しての受入体制となっています。

又、本年度より「麦乾工場の増強及びトラックスケールの新設」を図り、小麦受入システムを一新した受入とな

特に受入時の小麦の「サンプル採取」から「自主検装置による麦検査」迄の作業工程が改善され効率の良い受入 システムの構築がされました。







▲交通安全講話の様子

▲美幌警察署より講話

▲小麦コンバイン稼働収穫作業



▲小麦受入受付機



▲小麦サンプル採取の様子



▲小麦サンプル採取装置



▲小麦自主検査装置



▲小麦運搬車(庸車)

かふぇてらす@つべつ ~農業版~を開催! 北見工業大学オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 地域ミーティング第2弾

オホーツク管内各地で開催予定の地域ミーティング「かふぇてらす」は、美幌町にて第1回を開催したところで

すが、今回第2弾として7月18日「cafe 津別珈琲」にて「農業版」の「かふぇてらす」を開催しました。 参加者(津別町1名・JA関係者6名・北見工業大学関係者6名)合計13名の参加で進められました。

北見工業大学より、研究紹介として①農業全般について ②取組事例について 発表頂き意見交換を致しました。 開催の目的は、スマート農業において、津別町が地域で抱える農畜産業に対する潜在的な課題について懇談しました。

「地域の農畜産業における課題」をテーマにコーヒーと軽食を囲みながら、フリーディスカッションを行いました。 スマート農業研究会員・青年部員は、ポリマーコーティング種子による玉葱の「秋播き直播栽培」の研究に興味 を示していました。

又、作物の鳥獣による食害防止・リモートでハウス温度管理等について、活発な意見交換がされました。











営農課からのお知らせ



8月中旬から9月中旬までの営農技術について

畑作物

【秋まき小麦】 収穫跡地の管理

(1) 秋まき小麦の連作は、雪腐病、条斑病、ふ枯病、立枯病、眼紋病、コムギ縞萎縮病、ムギ類萎縮病及びなまぐさ黒穂病等の病害の発生を助長するので、3年以上の輪作を行って下さい。また、品種を変えて連作することで、混麦のリスクも高まります。

近年津別町では縞萎縮病、眼紋病、条斑病、ふ枯病が連作により拡大しています。

(2) 麦稈の堆肥化と後作緑肥の導入

収穫後、麦稈は速やかに持ち出し、堆肥化を図って下さい。また、収穫跡地に堆肥の投入や、緑肥作物を導入し、地力の維持・向上に努めて下さい。

緑肥栽培に当たっては、緑肥の導入効果を高めるため、麦の収穫後速やかに播種し、収量を確保することが重要です。すき込みは緑肥の種子が成熟する前に行って下さい。

(3) 透排水性改善

停滞水がある圃場では後作物で生育が劣るほか、病害等に罹病しやすくなります。このため、粘質土壌の圃場や耕盤層が形成され透水性の劣る圃場では、心土破砕や簡易暗きょなどを施工しておきましょう。

心土破砕は土壌が適湿時に施工する。特に水分が高いと、練り返しや土壌構造の破壊などによって十分な改善効果が得られず、逆に透排水性を悪化させる場合があるので注意して下さい。

(4) 小麦の播種適期・播種量

津別町における秋まき小麦(きたほなみ)の適期はその後の積算気温から9月19日とされています。しかし、ここ数年早播きが増えていて、縞萎縮病の春先の激発を招いています。過去に縞萎縮病の発生が確認された圃場については感染期間を短くするため、適期以降の播種をお勧めします。但し遅くなりすぎると減収にもつながりますので9月25~29日の間での播種をお願いします。

また、播種量についても近年秋が長く、越冬前、越冬後の茎数が多い傾向が見られます6~8kg/10aが適正量となります。種子の発注についても10a当り7kg程度を目安として下さい。



【ばれいしょ】

収穫は、2~3日晴天が続き、土壌がある程度乾いて塊茎に付着しない状態で行って下さい。収穫作業は、塊茎に皮むけ、傷、打撲、堀残しを生じないよう収穫機の調整・作業速度に留意が必要です。また、コンテナ等への収納作業においても、塊茎に衝撃を与えないよう注意するとともに、選別・運搬・風乾時の取り扱いは丁寧に行って下さい。

収穫後の塊茎は水分が高く、呼吸熱などにより傷から雑菌が侵入しやすく、貯蔵性が悪くなるので十分に風乾を行って下さい。



【豆 類】

(1) 菌核病、灰色かび病、炭そ病

菌核病・炭そ病は、開花期以降の多湿、灰色かび病は、低温多湿で発生が多くなるので、気象状況や生育ステージに注意して適期に防除して下さい。なお、灰色かび病では、トップジンM水和剤に対する耐性菌が認められているので、「防除ガイド」に遵守して適切な薬剤防除を行う必要があります。

(2) マメシンクイガ

成虫の発生期は訓子府町(北見農試)で平年8月5日です。産卵初め頃が防除適期で、成虫初発期及び莢伸長始(長さが2~3㎝に達した莢が全体の40~50%の株に認められた日)を指標に散布時期を把握する必要があります。

莢伸長始の6日後を目処に、ピレスロイド系剤を散布し、その10日後に有機リン系剤を散布すると効果的です。

(3)除草

雑草発生が多い圃場では、雑草が結実する前に抜き取りを行い、翌年以降の雑草の発生防止に努める必要があります。特に、大豆の

立毛中に秋まき小麦を播種する計画 がある場合は、秋まき小麦ばらまき1 か月前までにイネ科除草剤散布を終 わらせて下さい。



園芸作物

【たまねぎ】

(1) 収 穫

収穫は、根切り後15~20日目頃を目安に、茎葉(首部)の枯れ上がりを確認してから、土壌が乾燥している晴天日に行いコンテナに収納して下さい。腐敗球がある場合は、収穫前に選別・除去し、絶対に製品へ混入させないことが重要です。

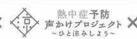
収穫後は、雨が当たらないように風通しの良い場所でしっかり風乾してから入庫し、貯蔵性を高めて下さい。



【かぼちゃ】

うどんこ病により茎葉の枯死が増加すると、日焼け果の発生が助長されるので、適切に薬剤散布を行って下さい。

収穫期を迎えますが、未熟果の混入を防ぐため、外観だけで判断せず、 必ず試し切りで内部品質を確認し、適熟果を収穫するようにして下さい。 また、貯蔵・流通中の腐敗果を防止するため、降雨時および降雨直後の収 穫は避ける必要があります。 農林水產省×中南的村





暑くなってきたら 日々の体調管理に 気をつけよう!



熱中症は、適切な対策を取れば防ぐことができます。 お互いに声をかけあって、熱中症を予防しましょう。 葉月このは



天気予報と 体調をチェック

- ✔急に暑くなる日は 要注意です。
- / 体調不良時は、無理 をしないように。



涼しい服装・ 安全な作業環境

- 帽子で日差しを遮り、 汗を逃がしやすい服装で。
- 作業はできる限り二人 以上で。暑いハウスの 中は風通し良く。



こまめな水分補給 こまめな休憩

- 🕜 喉が渇く前に、こまめに 水分をとりましょう。
- 🕜 こまめに涼しい場所で 休息しましょう。



高齢者は要注意

高齢者は若者に比べると、暑さや喉の 渇きを感じにくくなっています。 周囲の人も積極的に声をかけましょう。



熱中症になってしまった

涼しい場所に 避難 させる

衣服を脱がせ、 身体を 冷やす



水分を 補給する

自力で水を飲めない、 意識がない場合は、 直ちに救助隊を 要請しましょう



熟中症予防強化月間



4カ国語に 対応しました!





サイトは→ こちらから



ひと涼み

検索

農林水産省

農林水産省は農作業中の事故防止に取り組んでいます! 農水省 農作業安全 検索 http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen



今も昔も JA配置薬





家庭薬を配置している風景

現在でも愛され続けて 日本の家庭薬と共に歩 んできた「JA配置薬」 は、これからも健康で豊 かな暮らしを応援して いきます。



普及推進のため農村を行く クミアイ家庭薬車

「JA配置薬」は、開拓時代(大正十二年)にいわゆるるクミアイ家庭薬の配給から始まりました。昭和二十八年にJA北海道厚生連のクミアイ家庭薬の配給から始まりました。配置薬の定番でもある「マスチゲンドリンクした。配置薬の定番でもある「マスチゲンドリンクした。配置薬の定番でもある「マスチゲンドリンクした。配置薬の定番でもある「マスチゲンドリンクした。配置薬の定番でもある「マスチゲンドリンクした。配置薬の定番でもある「マスチゲンドリンクした。配置薬の定番でもある「マスチゲンドリンク」、昭和二十八年販売)は、販売

JA配置薬の歴中

これからも、JA配置薬

JA配置薬はご家庭に本会の救急箱をお預けして、 お薬を使った分だけ料金をお支払いいただくシステムです。

お申込みで 救急箱を 無料でお届け 定期的に ご自宅へ 推進員が訪問 使った お薬分だけ ご清算&補充



【お取扱い品目】

- ●かぜ薬 ●解熱鎮痛剤 ●胃腸薬 ●便秘薬 ●下痢・食あたり
- ●鼻炎薬 ●漢方薬 ●外用薬 ●ドリンク剤 ●保険薬
- ●健康食品 ●各医療機器 ●介護用品 ●その他



北海道厚生農業協同組合連合会 〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 受付時間 平日 8:30~17:00 **E** 0120-99-41-93

JA配置楽 LINE公式 アカウント



の後年金友の会情報業の

第3回 ゲートボール大会

開催日:令和6年7月4日(木) 開催場所:豊永 屋内ゲートボール

優 勝:柏木チーム

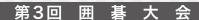
【柏木 茂・佐藤 正明・溝渕サカエ・

幅口 悦子・五島 良雄】

準優勝:鹿中チーム【鹿中 順一・佐野 信子・佐藤 卒子・篠原 恒子・今井 保】

3 位:山田チーム【山田 照夫・佐藤 朝代・手賀 武一・鍛冶 博光・山下 昌子・竹内 武二】

4 位: 丸尾チーム【丸尾 諭・土江 幸子・細川 順弘・長尾 隆行・西前 英雄】 5 位: 堂藤チーム【堂籐 優・小野 勇・笠井キョ子・奥村 照子・野本 弘子】



開催日:令和6年7月9日(火) 開催場所: JAつべつ 2階和室

優勝: 金田 義見 五 級【4勝0負】 **準優勝**: 下川 敏章 五段格【3勝1負】

3 位:三島 宏章 五段格【2勝1負1分け】

第3回 パークゴルフ大会

開催日:令和6年7月25日(木)

開催場所:豊永 さくら・いちいコース

優勝: 鍛冶博光(100)5 位: 三島 宏章 (106)準優勝: 池田 康博(102)6 位: 土屋 昇 (107)

3 位: 竹内 武二 (104) **7 位**: 長尾 隆行 (107)

4 位: 井上 俊之 (105)

 優勝: 斉藤 清子 (117)
 5 位: 篠原由記子 (122)

 準優勝: 佐藤 朝代 (118)
 6 位: 佐野 信子 (122)

 3 位: 村田 芳江 (119)
 7 位: 赤池 奎子 (123)

4 位:石川 峯子(121)







第20回JAつべつ杯パークゴルフ大会を開催します

開催日: 令和6年9月7日(土) 開会式8:15~(受付8:00迄) 開会式終了後競技開始

(雨天の場合は9月8日(日)へ順延)

開催場所:津別町豊永ふれあい公園 パークゴルフ場 (36 ホール)

募集人数:70名(定員になり次第締切させて頂きます)

締 切 日: 令和6年8月29日 (木) まで

申 込 先:津別町パークゴルフ協会員の方・・・ふれあい公園協会掲示板へ

町内在住で一般の方・・・JAつべつ金融共済課(0152-77-3170)まで「お名前」と「生年月日」を

をお知らせ願います。

令和7年度 てん菜新規耕作者の募集と てん菜作付けのお願い

来年は、ビートを作ってみませんか!!

国産の砂糖が減少しております。

- ◆輸入砂糖の価格高騰からの置き換えや外国人需要の増加で 国産在庫の適正水準を、下回る見込みです。
- ◆ニッテン美幌製糖所としても、原料が足りず困っております。

てん菜を作付けするメリットとは!!

◆他作物の連作障害を避けるための貢献します。 輪作体系にてん菜を入れる事で各作物の病害発生リスクを低下し 収穫残渣を鋤き込むことで地力アップに寄与します。

JAコントラを利用して、直播播種から収穫までの労力分散も可能です。

播種委託 約 4,500円/10a (税別·燃料代別) 収穫委託 12,500円/10a (税別·燃料代別)





お問合せ・ご相談はこちらまで

JAつべつ

経済部 農産課 0152-76-3473 太 田 智 也

日本甜菜製糖 (株) 0 1 5 2 - 7 6 - 2 6 6 1 阿 部 和 彦 津別原料事務所 佐 藤 柊 斗

8月下旬。9月上旬の主な行事

| | _ | | | 1000 | | _ | ACCUPATION OF THE PERSON OF TH |
|----|-----|---|------------------|------|-----|---|--|
| 8月 | 16日 | 金 | お盆休み | 9月 | 1日 | 日 | |
| | 17日 | 土 | | | 2日 | 月 | 経営会議 |
| | 18日 | 日 | | | 3日 | 火 | |
| | 19日 | 月 | | | 4日 | 水 | |
| | 20日 | 火 | スマートコンソーシアム中間検討会 | | 5日 | 木 | |
| | 21日 | 水 | 企画会議 | | 6日 | 金 | |
| | 22日 | 木 | 年金友の会パークゴルフ大会 | | 7日 | 土 | JA杯パークゴルフ大会 |
| | 23日 | 金 | | | 8日 | 日 | |
| | 24日 | 土 | 網走流域の会交流会 | | 9日 | 月 | 秋季例大祭~10日 |
| | 25日 | 日 | | | 10日 | 火 | 閉庁日 |
| | 26日 | 月 | | | 11日 | 水 | |
| | 27日 | 火 | | | 12日 | 木 | |
| | 28日 | 水 | コンプライアンス研修 | | 13日 | 金 | |
| | 29日 | 木 | 家畜の碑参拝・理事会 | | 14日 | 土 | |
| | 30日 | 金 | 棚卸監査 | | 15日 | 日 | |
| | 31日 | 土 | | | 16日 | 月 | |

女性農業者の みなさん

農業者年金は国民年金に上乗せできる あなた自身の積立年金です







農業者年金は「終身年金」ですので、女性の長い老後をしつかりサポートします。



家族経営協定を結べば保険料の国庫補助も受けられます。 女性の農業経営への参画をしつかり応援します!



保険料が全額社会保険料控除の対象で、高い節税効果!

詳しくは… 農業者年金基金 検索 https://www.nounen.go.jp



お問い合わせ・ご相談は

津別町農業委員会 JAつべつ営農課 **☎77-8384 ☆76-3322**

津別町農業協同組合 〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通30番地1 TEL0152-76-3322 FAX0152-76-3594 金融共済課直通電話 0152-77-3170

印刷 有限会社 サンケイプリント社

JAつべつ http://www.jatsubetsu.or.jp